

第二次案内

白河総合支援学校

研究発表会

＜研究テーマ＞

就労に向けた基盤となる自己肯定感を育むための
地域協働・共生型活動の充実
～キャリア発達を促すための教育環境の開発（カリキュラム・マネジメント）と
更なる就労支援の在り方～

＜キーワード＞

地域協働・共生型活動

地域に開かれた教育課程

内面の育ち

開催日程・会場

- ◆期日：平成30年 1月 26日（金） 9:50～16:45
- ◆会場：京都市立白河総合支援学校 〒606-8321 京都市左京区岡崎東福ノ川町9-2
- ◆日程 ※時間・内容等について若干変更になる場合がありますのでご了承ください

9:20	9:50	11:40	11:55	12:30	13:30	14:20	15:05	15:20	16:40	16:45
受付	公開授業	休憩	ポスター発表（生徒）	昼食休憩	開会挨拶概要説明	研究発表（ポスター）（教員）	休憩	講演 菊地 一文 氏	閉会挨拶	

講師プロフィール

- ◆菊地 一文 氏 <植草学園大学 発達教育学部 准教授>

青森県立養護学校教諭、弘前大学教育学部附属養護学校文部教官教諭、国立特別支援教育総合研究所主任研究員、青森県教育庁学校教育課特別支援教育推進室指導主事を経て現職。キャリア教育、教育課程、学習評価等に関する研究や全国各地でのご講演・指導助言等を通して先進的な実践を支援されています。本校においてもキャリア発達支援の充実に向けてご指導、ご助言をいただいている。

◇著書：「実践キャリア教育の教科書」（2013 学研教育出版）

「働く」の教科書 15人の先輩とやりたい仕事を見つけよう！（2013 中央法規出版）

「気になる子のためのキャリア発達支援」（特別支援教育 ONE テーマブック 10）（2016 学事出版）

共著：職業学科3校合同研究実践事例集「地域と共に進めるキャリア発達支援」（2017 ジアース教育新社）

研究について

京都市立総合支援学校 高等部職業学科3校は、平成26年度～28年度の3年間、「自己肯定感を育む」ことに焦点をあて、キャリア発達を促すための教育環境の開発と新たな就労支援の在り方について研究を進めてきました。地域の異年齢の人と共に活動し、互いに必要とし合う関係性を築く「地域協働活動」を通して自己有用感、ひいては自己肯定感を育むことができたのではないかと考えています。また、職業学科3校の教育資源（リソース）の相互活用をすることで生徒の新しい学びの場をデザインすることにつながってきています。

※参考：職業学科3校合同研究実践事例集「地域と共に進めるキャリア発達支援」（2017 ジアース教育新社）
今年度は、各校単位での研究となり、本校は昨年度までの成果を充実させる方向で研究に取り組みました。

研究テーマ 「就労に向けた基盤となる自己肯定感を育むための地域協働・共生型活動の充実」

～キャリア発達を促すための教育環境の開発（カリキュラム・マネジメント）と更なる就労支援の在り方～

研究を進めるにあたって以下の二つの観点に注目しました。



① 企業との連携による「デュアルシステム」や地域との協働による「地域協働・共生型活動」の推進が、「地域（社会）に開かれた教育課程」の構築につながっていること
② リソースの相互活用や、地域協働・共生型活動、企業実習・専門教科・共通教科等を関連付けた教育内容の工夫・設定等の教育環境の開発が「カリキュラム・マネジメント」につながっていること
「デュアルシステム」や「地域協働・共生型活動」の推進が、「生徒の育ち・変容」にどのように結びついていったのか等について事例を通して発表します。実践研究を通して障害のある生徒のキャリア発達支援を進め、就労支援・社会参加をさらに推進していきたいと考えています。

公開授業時間割

学年	クラス	1校時（自由参観） 受付後～9:45	2校時（公開授業） 9:50～10:40	3校時（公開授業） 10:50～11:40
1年 共通 教科	食品加工	情報「九州地方、鹿児島について調べよう」	数学「計算を身近なものに」	国語「地域による言葉の違い」
	農園芸	数学「収穫作業の疑似体験」	社会「京都を知る」	国語「文の作り方」
	情報印刷	社会「九州地方、鹿児島について発表しよう」	情報「エクセルで買物計画表をつくろう」	国語「同音異義語」
2年 ・ 3年 専門 教科	食品加工	○専門教科…パン・焼き菓子製造販売、 喫茶「ミルキーウェイ」の営業 ◆地域協働活動…高齢者配食サービス (弁当製造、戸別配達)	 	
	農園芸	 	○専門教科…校内農園芸作業、収穫、販売 ◆地域協働活動…錦林小学校ゆめいろ学級との共生型学習・交流農園	
	情報印刷	○専門教科…名刺、紙袋、PTA会報等製作、 納品 等 ◆地域協働活動…高齢者健康体操教室・ 手浴	 	

ポスター発表（生徒）

担当生徒	タイトル	内容
1 1年 情報印刷	白河に入学してからの軌跡と発展	本校に入学して1年間、どのようなことに取り組み、どのように成長したかを発表します。
2 2年 農園芸	経験を通してわかった自分の長所	今までの経験を具体的に振り返ることで、自分のいいところやがんばったことに気づき、これからの学習にどう生かすかを発表します。
3 3年 食品加工	企業・地域との関わりから見えてきた自分	企業と地域との関わりの中で見えてきた自らの課題に、どう向き合い、就労に向けてどのように日々の取り組みに反映したかを発表します。
4 3年 情報印刷	3年間の歩み	3年間の産業現場実習、その振り返りと気付きを通して、自分がどのように育ち変容してきたのか、自らの言葉で発表します。

ポスター発表（教員）

担当 研究組織	テーマ タイトル	内容
1 1年情報印刷担任 学年会・専門会	○生徒の育ちと変容 「成功体験を重ねることで自信をつける～人とのかかわりを通して課題解決の方法を増やす～」	入学時は自信がなく、消極的だった生徒が人との関わり・成功体験を通して自信をつけ、自ら課題解決できるようになった軌跡について発表します。
2 2年農園芸担任 学年会・専門会	○生徒の育ちと変容 「対話的アプローチをきっかけに自分の良い所に気づく～積極的に自ら動くことを目指して～」	対話を通じて自己理解を深め、自分の長所に気づき、長所を生かして積極的に活躍することを目指した取り組みを発表します。
3 3年食品加工担任 学年会・専門会	○生徒の育ちと変容 「第一印象の大切さ～他人からどう見られるかを考える～」	3年生になり面接や実習に向け「他人からどう見られるか」を生徒との対話的アプローチを通して自らよりよい行動がとれるように取り組んだことを発表します。
4 支援部就労支援Co 支援部会	○就労支援を通した生徒の育ちと変容 「生徒にとって意味のある実習を～デュアルシステムを通して働く生活に向かう～」	本校では、3年間で30週をめどに産業現場実習を設定しています。一つ一つの実習で振り返りと気づきを積み上げながら、働く生活に向かうための気持ちとスキルを高めていった事例を発表します。
5 専門主任 専門教科・教科担当者会	○地域に開かれた教育課程 「学びを土台に～自分たちの“できた！”を小学生の“できた！”に～」	本校は、各専門教科でそれぞれ地域の方とともに学ぶ機会を設けています。その中でも、錦林小学校ゆめいろ学級との関わりを通して、生徒達の変容、育ちについて発表します。
6 学年主任 学年主任会・主任会	○カリキュラム・マネジメント (専門教科と共通教科の関連) 「課題・取組・成果の共有～すべての活動を通じて～」	生徒個人の課題を専門教科や共通教科、各学年の取り組みに結びつけて、すべての活動を通して生徒の変容や成果を発表します。
7 リソース活用担当 学年主任会・主任会	○リソース活用 「高齢者の方との心のふれあい～他校のリソースをもとにした生徒による“手浴”学習の創造～」	鳴滝総合支援学校の「介護・福祉」のリソースを活用し、本校で新たに“手浴”学習を生徒と共に創造したことについて発表します。
8 生徒会担当 主任会	○生徒会活動・花と緑の白河プロジェクト 「地域と共に、『こころ』を育てる・『こころ』を豊かに・気持ちをつなげるいこい・交流の場の創造」	地域協働・共生型活動充実に向け、学校を花・緑いっぱいにしようと、全教職員・生徒で取り組みました。生徒会・専門教科・共通教科等学校全体で、どのように活動するかを検討することから現在までの経緯を発表します。
9 養護教諭 学年主任・各学年 性と生の担当	○性と生の学習 「人とのかかわりの中で、自他のいのちを大切に～性と生の学習を通して～」	生徒の実態に応じた性と生に関する学習を行っています。3年生の学習を中心に性犯罪被害や生命誕生のテーマで取り組んだ実践について発表します。

テーマ :「今後の学校におけるキャリア発達支援の在り方について
—新学習指導要領の趣旨を踏まえて—」

先般、公示された新しい学習指導要領等では、連続した多様な学びの場における「十分な教育」を実現するための理念や方向性、具体的な内容及び配慮事項等の工夫例が示された。新たに示された「社会に開かれた教育課程」「育成を目指す資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」の4つのキーワードは、これまでの特別支援学校におけるキャリア発達支援の取組と深く関連し、教育活動の見直しと今後の一層の充実を図る上で、重要な視点となる。講演では、**キャリア発達支援の理念に基づき**、これらのキーワード等について解説するとともに、さまざまな実践事例に基づいて今後検討すべき事項について述べる。

申込方法・問い合わせ

◆ 申込方法

- ・白河総合支援学校のホームページより申込フォームでお申込ください。
- ・FAXでのお申込も可能です。(ホームページより申込用紙を印刷してください)

◆ 申込締切 平成30年1月19日(金)

(締め切り後のお申込につきましては、本校にお問い合わせ下さい)

◆ 問い合わせ先

- ・京都市立白河総合支援学校

〒606-8321 京都市左京区岡崎東福ノ川町9-2
【TEL】075-771-5510 【FAX】075-771-5169



その他

- ※ 駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。
- ※ 昼食は各自ご用意ください。校内の「ミルキーウェイ」でパン販売・喫茶も可能です。
- 学校の周辺に食堂（数軒、少人数対応）、コンビニもあります。
- ※ 個人情報保護の観点から、校内での写真・ビデオ撮影等はご遠慮ください。（施設・設備等は可）
- ※ 学校敷地内は、全面禁煙になっておりますので、ご了承ください。

アクセス



- 市バス停「岡崎道」から徒歩7分
- 市バス停「近衛通」から徒歩9分
- 京阪「神宮丸太町」から徒歩18分
- 京都駅→市営地下鉄(国際会館行)→「丸太町」下車→市バス204(銀閣寺行), 93(錦林車庫行)→「岡崎道」下車→徒歩→学校 (所要:約36分)
- 京都駅→洛バス(市バス)100(清水寺祇園・銀閣寺行)→「岡崎道」下車→徒歩→学校 (所要:約36分)
- 四条河原町→市バス203(祇園・錦林車庫行)→「岡崎道」下車→徒歩→学校 (所要:約23分)